

科目名	価値を実現するためのプロジェクトマネジメント	
担当講師	初田賢司、加藤浩一（LTR社）、荒添雅俊(日立ドキュメントソリューションズ)、 下田潔(日立ドキュメントソリューションズ)	
分類	必修	
授業時間数（時間）	22.5	
授業形態	Zoomを利用したオンライン講義もしくはキャンパスでの対面講義	
授業の概要	ISアーキテクトが描いた構想を実現し価値を産み出すためには、その構想をプロジェクトで実現し、定常業務で実行しなければなりません。本講義では、プロジェクトマネジメントに必要な知識体系とその知識を実践で使いこなすためのスキルを講義と演習により習得します。また、異分野のプロジェクトと比較することにより、ITプロジェクトの特質について理解を深めます。	
特色とメリット	これからプロジェクトマネジャーになる方を対象に、プロジェクトマネジメントの基礎から留意点まで習得します。	
学習目標	<p>本講義を通して受講者に以下のような知識・能力がつくことを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの定義を説明することができる ・プロジェクトマネジメントの知識体系を理解する ・プロジェクトに必要な実践的なWBSを作成できる ・WBSに基づいてプロジェクト計画を作成できる ・ITプロジェクトの特質を説明できる 	
内容	1日目 プロジェクトマネジメントの基礎	・イントロダクション
		・プロジェクトとプロジェクトマネジメントの用語と概
		・プロジェクトスコープの定義
		・作業の特定と見積もり
		・作業のスケジュールとタイムラインの作成
		・作業の委任とプロジェクト計画のベースライン
	2日目 ITプロジェクトのプロジェクトマネジメント	・プロジェクトの実行とコントロール
		・プロジェクトの終結
		・まとめ
		・ITプロジェクトの立上げ
3日目 ゲーミフィケーションを活用したPM実践道場（対面教育）日立ドキュメント	・WBSを中心としたプロジェクト計画の作成	
	・ITプロジェクトのコントロール	
	・ITプロジェクトにおけるリスク・マネジメントの実際	
	・プロジェクトの混乱を防止するためのロスコスト・マネジメント	
	・グループ演習	
	ケーススタディ トラブルの原因と防止策を考える	
オープニング「プロ・トレZ」の概要・プレー方法説明		
PM導入体験：「プロ・トレZ」プレー。チームディスカッション（振り返り）。		
海外プロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント		
プロジェクトマネジメントディスカッション		
・建設プロジェクトとITプロジェクトの比較まとめ		
受講の前提条件	ADPISA-E終了もしくはITSSレベル2相当のスキルを持つこと	
事前学習	特になし	

事後学習	講義では、プロジェクトマネジャーとして独り立ちするために必要な知識を中心に解説します。プロジェクトマネジャーとして、より実践力を高めるためには、リーダーシップ、ファシリテーション、コミュニケーション、ネゴシエーションなどのソフトスキル系スキルの学習をお勧めします。
参考文献・オンライ	Project Management Institute「プロジェクトマネジメント知識体系ガイド PMBOK®ガイド」、PMI日本支部 初田賢司「システム開発のためのWBSの作り方」、日経BP 初田賢司「ITプロジェクトの無駄を排除するロスコストマネジメント実践ノウハウ」、日経BP